



東海道ハイウェイ - 江戸から現代の肖像 -

2014年7月8日（火）～ 9月11日（木）

Part1：2014年7月8日（火）～ 8月10日（日）

Part2：2014年8月12日（火）～ 9月11日（木）

展覧会名：東海道ハイウェイ - 江戸から現代の肖像 -
会 期：2014年7月8日（火）～ 9月11日（木）
Part1：2014年7月8日（火）～ 8月10日（日）
Part2：2014年8月12日（火）～ 9月11日（木）

主 催：静岡市東海道広重美術館（指定管理：NPO 法人ヘキサプロジェクト）
助 成：グレートブリテン・ササカワ財団



本展覧会では江戸と現代の作家が捉えた、東海道をめぐる人々をテーマにした作品を紹介します。街道の人々を生き生きと描く広重の『五十三次』（通称 人物東海道）と宿場にまつわる故事や伝説の人々を描く『東海道五十三對』は、江戸時代に生きた人々の生活や思想を今に伝えてくれます。そして、カール・ランダルの『東海道ハイウェイ』は、広重がかつて歩き、繰り返し描いた「東海道」を再び辿り、そこに生きる現代の人々の肖像を描き記録したシリーズです。広重とランダルの目を通して描かれたこれらの作品には、古今を問わず日本社会の断面が表現されています。国と時代を超えた「東海道」のコラボレーションを、ぜひお楽しみください。

■出品作品

※展示内容及び出品作品は都合により変更となる場合がございます。

歌川広重	Part1：『五十三次』（通称 人物東海道）全 56 点
歌川広重 三代歌川豊国 歌川国芳	Part2：『東海道五十三對』全 55 点
カール・ランダル	Part1/Part2 共通：『Tokaido Highway』全 14 点

■作品介绍：歌川広重作品

Part1

『五十三次』（通称 人物東海道）

『五十三次』は美人風俗をはじめ、旅人や人足など、東海道の風景を背景として人物が大きく扱われている事から『人物東海道』の別名で知られます。嘉永五年（1852）頃、版元・村田屋市五郎から刊行されました。通常、東海道の揃物は江戸・京都と五十三の宿場を足した合計五十五点で構成されますが、本揃物は京都が二枚描かれた全五十六枚の中判錦絵です。



『五十三次 日本橋』



『五十三次 原』



『五十三次 由井』

□作品解説

『五十三次 日本橋』

日本橋は東海道の起点であり、魚河岸と呼ばれる魚市場が栄えた江戸の中心地でした。日本橋の脚下では、荷物を載せた高瀬舟や猪牙舟が行き交い、河岸には二人の女性が渡し舟から降り立っています。向こう岸に並ぶ蔵の上には江戸城が覗いています。

『五十三次 原』

原は東海道五十三次の中で最も大きく富士山を望むことができた宿場です。本図の富士山は、上部は暗くかげり、頂上は見切れて描かれており、その巨大さを物語っています。切り株に片足を抱えて座っている女性はきせるで一服の休息を取っています。

『五十三次 由井』

倉沢は由比と興津の間にあった間宿で、薩埵峠を控えた場所にありました。名物は海女が捕ってきたサザエやアワビで、これらの壺焼きなどが茶屋で出されていました。本図に描かれた人物たちが踊っている「くら沢踊」は、現在では伝承されてはならず、どのようなものだったのか不明となっています。

■作品介绍：歌川広重 / 三代歌川豊国 / 歌川国芳作品

Part2

とうかいどうごじゅうさんついで
東海道五十三對

『東海道五十三對』は幕末期の歌川派を代表する三人の絵師・広重、三代豊国、国芳が筆をとった揃物です。主題は東海道の風景ではなく、宿場とその地方に伝わる物語や伝説の人物が描かれ、画面上部の枠内には宿場に関する歴史故事、狂歌などが記されています。弘化元年～四年（1844～47）に伊場屋仙三郎、伊場屋久兵衛、遠州屋又兵衛、伊勢屋市兵衛、海老屋林之助、小嶋屋重兵衛の六軒の版元から刊行されました。



歌川国芳
『東海道五十三對 川崎』



歌川広重
『東海道五十三對 江尻 三保の浦羽衣松の由来』



三代歌川豊国
『東海道五十三對 島田の驛 大井川』

□作品解説

『東海道五十三對 川崎』

江戸の庶民には馴染み深い『心霊矢口渡』が描かれます。武将・新田義興は、延文三年（1358）、多摩川の矢口渡しを渡る際、計略によって舟を沈められ溺死します。計略に加わった人々に報いがあったことから、義興の御霊を鎮めるため、義興は新田大明神として祀られました。

『東海道五十三對
江尻 三保の浦羽衣松の由来』

富士の景勝地・三保の松原は駿河湾に伸びた砂州の上に茂った松林で、「羽衣伝説」の舞台として知られます。その中のひとつ、「羽衣の松」は天女が羽衣をかけた松とされます。本図では、漁師に奪われた羽衣を取り返し、空高く舞い上がる天女の姿が、杵を突き抜けて描かれます。

『東海道五十三對
島田の驛 大井川』

大井川は川幅が広い急流の川でしたが、幕府が架け橋と渡船を禁じたため、旅人達は川会所で人足を雇い、肩車か輦台に乗るなどして渡りました。マシュー・ペリー来航時に相撲を披露した事で知られる大関・小柳常吉が、大勢の人足によって担がれています。

■作品介绍：カール・ランドル作品

Part1 / Part2 共通

東海道ハイウェイ

『東海道ハイウェイ』は、かつて広重が歩き、繰り返し描いた「東海道」をランドルが訪れ、そこで見た日本の文化や風土、出会った人々の肖像を描き記録したシリーズです。作品には、イギリス人画家の目を通して映る、現代の日本社会の断面が表現されています。本展では、ナショナル・ポートレートギャラリーの「BP トラベル・アワード^(注)」(2012年)受賞作品『東海道ハイウェイ』シリーズ全14点をご紹介します。

(注)：「BP トラベル・アワード」は、ナショナル・ポートレートギャラリーが毎年開催する公募展です。受賞者には、作品のリサーチ費用と発表の機会が与えられます。ナショナル・ポートレートギャラリーは、ロンドンのナショナル・ギャラリーの別館にあたるポートレート(肖像画)を専門に収蔵する美術館です。



『Tokaido Highway Hakone』© Carl Randall 2013



『Tokaido Highway Electric Tokyo』© Carl Randall 2013

□作家プロフィール



カール・ランドル Carl Randall

カール・ランドルは、都会の群像などをモチーフに描く油彩画家です。2012年には「BP トラベル・アワード」(ナショナル・ポートレートギャラリー)を受賞、イギリス国内で注目を集めるアーティストのひとりです。(イギリス在住)

- | | |
|-----|--|
| 出身 | 1975年 ニューカッスル、イギリス |
| 学歴 | 1999年 ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン スレイド・スクール・オブ・ファインアート学部課程卒業 |
| | 2003年 プリンズ描画学校、プリンズファウンデーション大学院レベルコース修了 |
| | 2009年 東京藝術大学大学院美術研究科修士課程油画専攻修了 |
| | 2012年 東京藝術大学大学院博士後期課程美術専攻油画研究領域修了 |
| 受賞歴 | 2011年 野村美術賞(東京藝術大学) |
| | 2012年 BP トラベル・アワード(ナショナル・ポートレートギャラリー) |



カール・ランドルの作品を鑑賞する安倍晋三首相
(2014年5月1日、ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン)

※右写真の図録は展覧会会期中、当館で販売します。
※本展覧会では写真内作品の出展はございません。

■関連企画

■関連企画 1：カール・ランダル ワークショップ「東海道をかこう！」

カール・ランダルと一緒に東海道を旅する人々を描くワークショップ。歌川広重の『人物東海道』のように、あなただけの「東海道」を描いてみませんか？ 完成した作品は、展覧会会期中、当館にて展示させていただきます。

- 実施日時：7月12日（土）9：30～12：30（9：15より受付開始）
 - 対象：小学生
 - 講師：カール・ランダル（通訳有り）
 - 定員：10名
 - 参加費：無料
 - 申込み：お電話（054-375-4454）またはWEBサイトよりお申込みください。
 - 申込み締切：7月5日（土）17：00
- ※詳細は、WEBサイトにて随時ご案内いたします。

■関連企画 2：カール・ランダル ギャラリートーク（通訳あり）

イギリスより来日したカール・ランダルが、自作『東海道ハイウェイ』について解説します。

- 実施日時：7月13日（日）13：00～14：00
 - 参加費：無料（入館料別途）
- ※当日当館エントランスホールにてお集まりください。（申込み不要・定員制限無）

■関連企画 3：当館学芸員によるギャラリートーク

- 実施日時：Part1 / 7月20日（日）13：00～13：30 『五十三次』（通称 人物東海道）
Part2 / 8月24日（日）13：00～13：30 『東海道五十三對』
 - 参加費：無料（入館料別途）
- ※当日当館エントランスホールにてお集まりください。（申込み不要・定員制限無）

開催時間：午前9時～午後5時（入館は閉館の30分前まで）

休館日：毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌平日休館）

入館料：一般510円（410円）/ 大学生・高校生300円（240円）/ 中学生・小学生120円（100円）

※静岡市在住または通学している中学生以下及び、静岡市在住の70才以上の方は無料 ※身体障害手帳等をご持参の方及び介助者は無料

※（ ）は20名以上の団体料金

※平成26年4月1日より入館料が変更となりました。

主催：静岡市東海道広重美術館（指定管理者：NPO法人ヘキサプロジェクト）

助成：グレイトブリテン・ササカワ財団



 静岡市東海道広重美術館
SHIZUOKA CITY TOKAIDO HIROSHIGE MUSEUM of ART

〒421-3103 静岡県静岡市清水区由比 297-1

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321

[URL] www.tokaido-hiroshige.jp

[facebook] www.facebook.com/tokaido.hiroshige

〈電車をご利用の場合〉

JR東海道本線「由比」駅下車後 徒歩25分、タクシー5分

〈お車をご利用の場合〉

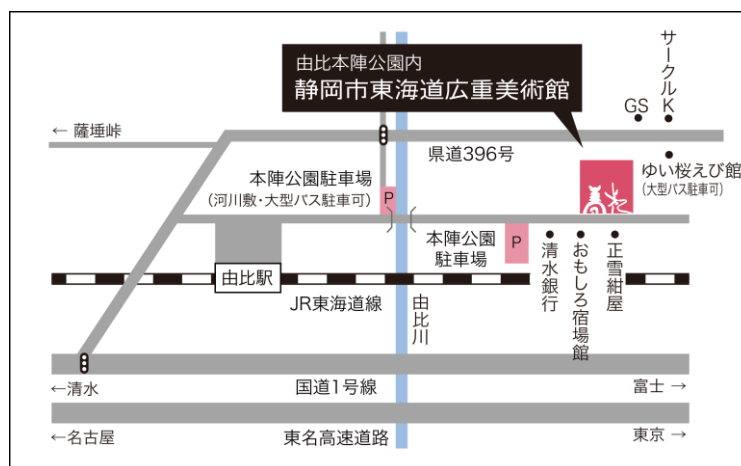
美術館無料駐車場21台（由比本陣公園駐車場）

[大阪・名古屋方面から]

東名高速【清水I.C.】から国道1号経由約20分

[東京・横浜方面から]

東名高速【富士I.C.】から国道1号経由約25分



本展覧会及びプレスリリースに関するお問い合わせ

静岡市東海道広重美術館 Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp

■広報用画像提供のご案内

展覧会広報用として下記5点のデジタルデータをご用意しております。ご希望の場合はメールまたはファックスにてお申込みください。



□作品名およびクレジット

1. 展覧会ポスターイメージ ©Shizuoka City Tokaido Hiroshige Museum of Art
2. 歌川広重 『五十三次 由井』 静岡市東海道広重美術館 蔵
3. 歌川広重 『東海道五十三對 江尻 三保の浦羽衣松の由来』 静岡市東海道広重美術館 蔵
4. Carl Randall 『Tokaido Highway Haone』 © Carl Randall 2013
5. Carl Randall 『Tokaido Highway Electric Tokyo』 © Carl Randall 2013

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等をご遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

『東海道ハイウェイ - 江戸から現代の肖像 - 』

広報用画像データ申込書

静岡市東海道広重美術館 広報担当 行

Fax. 054-375-5321 E-mail.info@tokaido-hiroshige.jp

■ご希望の作品番号にチェックをつけてください

1. 展覧会ポスターイメージ
2. 歌川広重 『五十三次 由井』
3. 歌川広重 『東海道五十三對 江尻 三保の浦羽衣松の由来』
4. Carl Randall 『Tokaido Highway Haone』
5. Carl Randall 『Tokaido Highway Electric Tokyo』

貴社名：

媒体名：

ご担当者名：

TEL：

FAX：

E-mail：

画像到着希望日： 月 日 時頃 ※指定可能時間 10:00～16:00

掲載予定日（コーナー名）： 月 日

〈使用条件〉

※作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

※ご使用の際には、画像のトリミングや、別の画像との合成、文字乗せ等はお遠慮ください。

※各画像のキャプション及びクレジットを記名の上、ご使用ください。

※ご使用の際には、お手数ですが校正紙をEメール添付にて担当までお送りください。

※弊館での広報実績資料とさせていただくため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどお送りいただければ幸いです。

本プログラムをご紹介いただく際は、ご連絡をお願いいたします。

Tel 054-375-4454 / Fax 054-375-5321 info@tokaido-hiroshige.jp